

104-156

問題文

薬物	主な作用機序	主な作用部位
1. エブレレノン	バソプレシンV ₂ 受容体遮断	集合管
2. ブメタニド	Na ⁺ /K ⁺ 交換系阻害	ヘンレ係蹄上行脚
3. アセタゾラミド	炭酸脱水酵素阻害	集合管
4. トリアムテレン	Na ⁺ チャネル遮断	遠位尿細管、集合管
5. インダパミド	Na ⁺ /Cl ⁻ 共輸送系阻害	遠位尿細管

解答

4, 5

解説

選択肢 1 ですが
エブレレノン（セララ）は選択的アルドステロンブロッカーです。V₂ 受容体遮断薬ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが
ブメタニドは、ループ利尿薬です。Na⁺ -K⁺ -2Cl⁻ 共輸送系を抑制します。「Na⁺ /K⁺ 交換系」ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが
アセタゾラミドは、炭酸脱水酵素抑制剤です。近位尿細管 の炭酸脱水酵素（CA : carbonic anhydrase）を阻害します。これにより、Na⁺ - H⁺ 交換系が抑制され Na⁺ の再吸収が抑制されることにより利尿作用を示します。「集合管」ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 4,5 です。

類題